

01 Executive Statements

経営陣からのメッセージ

朝日インテック株式会社
代表取締役社長

宮田 憲次

1-1	社長メッセージ.....	11
1-2	会長メッセージ.....	13
1-3	投資家×経営陣ディスカッション Part.1	14

1-1

社長メッセージ

「成長し続ける会社」であるために 企業としての社会的責任を果たし持続可能な 社会の実現に貢献する

このたびは、朝日インテック統合報告書2025をご覧ください、誠にありがとうございます。
朝日インテック株式会社 代表取締役社長の宮田憲次です。代表取締役社長に就任してから、早くも一年が経ちました。

この一年を振り返ると、多くの方々に支えられ、日々が学びと挑戦の連続であったと実感しております。私自身にとっても、この一年は非常に濃密で、長く感じられる時間でした。

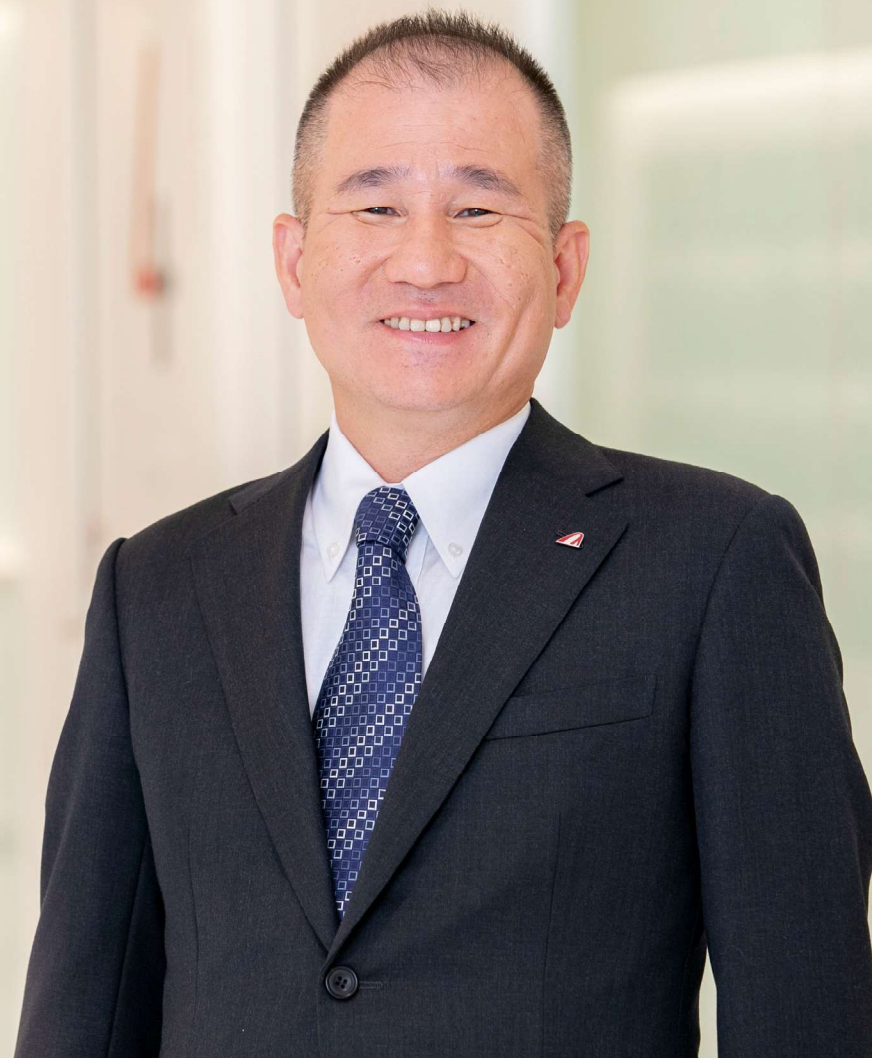
就任と同時に、新たな中期経営計画の策定に取り組んでまいりました。

前中期経営計画を一年前倒しで達成できたのは、社員一人ひとりの努力はもちろんのこと、株主・お取引先をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様の温かいご支援とご理解があってこそであると、改めて深く感謝申し上げます。

この成功を次の飛躍へとつなげるため、早い段階から次期計画づくりに着手いたしました。

朝日インテック株式会社
代表取締役社長

宮田 憲次



1-1 社長メッセージ

新中期経営計画の策定にあたっては、これまでの成果や課題を丁寧に振り返りながら「長い将来においても、私たちが成長企業であり続けるために何が必要か」を幹部たちと率直に議論を重ねてまいりました。その過程では、私自身もリーダーシップを発揮し、全社一体となって未来を描くことを大切にしてきました。

今後の大きなテーマの一つは、生産性の向上を通じた収益性の改善です。

私自身、入社以来、ものづくり企業としての基礎となる「高い品質を保ちながらの安定的な量産体制の確立」に取り組んでまいりました。この“主戦場”ともいえる生産性改善について、引き続き実直に取り組んでまいります。

もう一つの重要なテーマとして、当社の技術をより広く社会価値へと昇華させるべく、治療デバイス領域への挑戦を進めてまいります。

これまでアクセスデバイスで培った技術力を活かし、より直接的に患者様の治療に貢献できる分野へと領域を拡大してまいります。治療デバイスは高付加価値である一方、競争環境も厳しい領域ですが、当社ならではの技術的強みを核に、場合によっては資本提携やM&Aなど外部パートナーとの連携も柔軟に検討しながら、事業のさらなる成長の加速を図ってまいります。

さらに、組織としての盤石化にも注力してまいります。

組織は「人」で成り立つものです。変化の激しい環境の中にあっても、確かな基盤を持ち、社員が安心して挑戦できる会社でありたいと考えております。こうした組織力が、当社の成長戦略を力強く下支えすると確信しています。

そして何よりも、「成長し続ける会社」であるために、社会から常に信頼される存在でありたいと考えています。企業としての社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献することこそ、私たちの使命であり、誇りです。

これからも社員とともに、一步一步、確かな歩みを続けてまいります。皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

朝日インテック株式会社
代表取締役社長

宮田 寛次